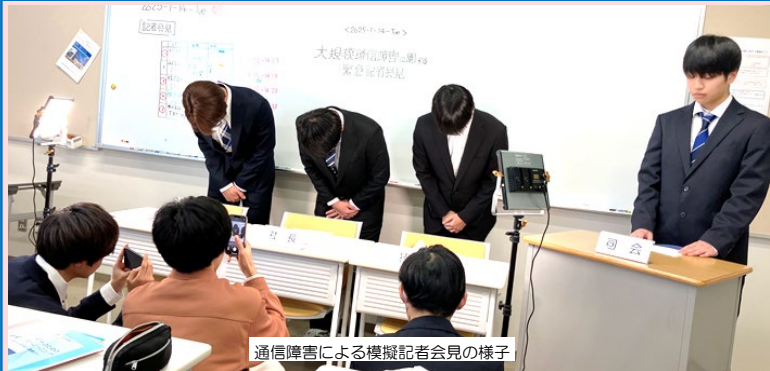




1 リアル体験 学びに活かせ



通信障害による模擬記者会見の様子

情報システムコース1年生の授業で、模擬記者会見（ロールプレイ）が実施されました。

学生は4つのグループに分かれ、通信障害に関する新聞記事を読み込み、通信障害を起こした企業と新聞記者の立場で、事故の原因分析やその後の対応に関し、ポジションペーパーや質疑、その応答を整理しておきます。

実施に当たっては、1グループが企業役（社長、副社長、技術、進行）となり、他の3グループが新聞記者役となり、ロールプレイを進めていきます。

学生からは、「多くの状況や様々な質問に答えられるように、新聞を何度も読み返して準備しました」、「想像以上に緊張しました。冷静に誠意をもって会見に臨むことが重要だと思った」、「企業側の立場になって考えることで、失敗できないIT技術者の社会的責任の重さを感じました」「謝罪会見する人の気持ちをリアルに体験した。しっかり生かしていきたい」との収穫を口にしていました。

2 学生の思い綴る川柳

記事トレで、「サラリーマン川柳」を実施したところ、楽しそうとの声もあり、「IT短大川柳」がスタートします。

【授業・実習】

- 分からない 難しすぎて 分からない
- パスワード 覚えたところに 変更日
- 記事トレで 養う力 役立てる
 - 学ぶこと 昨日の自分 超えること
 - プログラム 達成感に 満たされる
 - 実習で 画面見過ぎて ドライアイ
 - レポートに 追われるだけの 毎日よ



【屋食・休み時間】

- 5分間 短い休み マジきつい
- 休み時間 5分の間で 切り替える
 - 楽しいな 皆でお昼 食べるとき
 - 屋休み みんな集まり 皆笑顔



【通学路】

- 通学路 変わらぬ景色 もう飽きた
- 掃り道 疲れを癒す 夜の月
- 何もない 毎日歩く 田んぼ道

【資格取得】

- 友達と 力合わせ 皆笑顔
- ITの 未来の人材 楽しみだ



3 『記事トレ』紹介



本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

＜記事トレ＞朝日新聞（2025年2月12日）
国産AI人材 ディープショック
留学経験なし 中国内の有名大卒

●木元心結さん（多賀高卒）

◇要約：低コストで高性能なAIを開発したとする中国企業の衝撃が世界で広がっている。留学経験のないAI人材に注目が集まっている。しかし、米オープンAIのデータ不正取得や規制対象の米半導体の使用など疑惑も残している。

◇感想：AIの技術が向上していくことはとてもいいことだと思うが、不正取得の疑惑など利用者や他国のAI企業にも影響が出るなど不安が残っている。より規制を厳しくし、より良い結果が出るようにしていくべきだと感じる。

●松倉洋輝さん（緑岡高卒）

◇感想：中国がAI人材を「自給自足」できると聞くと、そんなまさかと思ってしまう。

しかし、現実では、世界のAI研究者の上位2割の内、47%が中国出身者であるという、AIを学ぼうと思ったら中国に留学との選択ができると感じた。

●富永誠也さん（太田一高卒）

◇感想：中国でトップレベルのAIが開発されたことにより、AI人材を自給自足できる証明になったと思う。

日本も外国から学び、将来的に国内でAI人材を育てられる国になるべきだと思う。私はAI競争に参加できる人材になりたい。

●馬場晃一さん（勝田工高卒）

◇感想：ここ最近、中国のIT分野での発展は凄まじく、私生活への取り組みや交通システムの改善などの動きが報じられることが多くなっている。

日本でもIT分野に力を入れていく必要性を感じさせられる記事である。

●高橋京汰さん（日立工高卒）

◇感想：オープンAIが世界に広まって以降、世界的にAIのレベルとそれを支えるIT技術者のレベルが上がっている。

自分も世界のIT技術者に負けないよう、これからももっと勉強を頑張っていきたい。

